

図書館の

こんなこと知らなかった ④

2003年度日本語学科卒業生 野村 季美子

私は大学在学中、京都外国語大学の図書館でアルバイトをしていました。図書館という場所がアルバイトをするまでは近くの存在のようで実はすごく遠い存在だったように思います。今思えばいろいろな場面においても図書館とうまく付き合うことができたのではないかと思います。そして賢く図書館を利用する方法というものがあることを図書館とのつながりが増えた事によって知りました。例えば、みなさんは図書館にたくさんの旅行本があることを御存知ですか。私は旅行が好きで旅行へ行く際は書店で旅行のガイドブックを沢山買い情報を集めていました。しかし、図書館には同じ旅行のガイドブックであっても種類がしっかりそろっているのです。じっくりと必要な情報を得ることができました。以前私が図書館を利用していたときと言えば何か授業で出た課題のためや、プレゼンテーションの準備、またレポートをかくときの情報を集めるときだけでした。そうすると学習面以外のことで図書館は私たちにたくさんの情報を与えてくれる情報発信基地のような役割も果たしているように思います。また、資格試験の勉強を手助けしてくれるような対策本などもたくさんあります。資格試験の問題集はいろいろな出版社からでているものいろいろなパターンの問題を解いて練習したいと考えます。そうすると検定対策本が充実しているということは無駄なお金をかけずにしっかりと勉強することができます。

そして何よりもこの大学の特徴でもある語学教育をサポートする本の数には圧倒されます。本当に初歩的な本から高度な作品までさまざまです。図書館に所蔵されている本というのは閲覧室にあるものだけではなく、むしろ閲覧室に並んでいる本なんて所蔵している本の中のごくごくわずかです。つまり、これらをうまく活用することでより充実した学生生活を送ることができると思います。みなさんも自分の興味のあることに関することも図書館にいてみてチェックしてみてもはどうでしょうか。

おこしやす、図書館へ

「図書館って、何をする所？」

藤井 達也

もうすぐ夏休みですが、いかがお過ごしでしょうか。新入生の皆さんは新しい環境に、もう慣れましたか？

さて、このシリーズでは新入生の方々をメインに、そして二年次以上の方でも図書館をあまり使ったことがない人のために、判りやすく紹介しようと考えています。

今回は「図書館って、何をする所？」について考えてみましょう。このような質問をすると、恐らく「本を読む所」、「本を借りる所」、あるいは「調べ物をする所」という返事をしませんか？勿論、これ全て正解です。しかし本当にこれだけでしょか。何か堅苦しい気がしませんか。「図書館」には、近付き難い雰囲気を感じる人もおられるのではないでしょか。もっと自由に、気軽に利用出来ないのでしょうか。

例えば皆さんは日々のニュースを、どのような手段で手に入れていますか？ テレビですか、新聞ですか、それともインターネットですか？ 親元から通学している人であれば新聞は容易に手に入りますが、実家から遠く離れて一人で生活している人にとっては新聞を購読するのも困難ではないでしょうか。そこで図書館です。図書館には主要な新聞が揃っています。大きな机でゆったりと読むことが出来ます。ほんの少しの時間、図書館に新聞を読みに行くという使い方も良いのです。複数の新聞を読み比べる事も簡単に出来てしまいます。外大ですから外国語の新聞もあります。外国語の記事を読めば、時事と語学のために一石二鳥です。更に図書館には娯楽雑誌もあります。これらを読んで、疲れた頭を休ませるのもいいですね。

図書館の使い方は、人それぞれです。また同じ人でも、時と場合によって様々な使い方があります。決まった法則はありません。ちょっと息抜きのために、図書館へ立ち寄ってみませんか？何か新しい発見があるかも知れませんよ。学生証を忘れずにお持ちのうえ、お越し下さい。お待ちしております。

ふじい たつや（図書館係長司書）